

trashbin-unity

実行方法

セットアップ

- PCとラズパイをLANケーブルでつなぐ
 - もしくは同一の無線LAN
- PCとディスプレイをHDMIケーブルでつなぐ
- macの環境設定でディスプレイの向きを正しくする。解像度を調整
- ターミナルからラズパイにsshできることを確認
 - やり方は以下の注意事項を参照

PC側

- Unityで~/Documents/trashbin-unityを開く
- Assets/main.unityを開いて実行(上の方の実行ボタン)
- Game Viewを最大化するときは、実行する前に最大化しておく

ラズパイ側

- ~/Documents/main.pyを実行(`python3 main.py`)
- カメラに腕をかざして離すとPC側に画像が送信される。

デバッグ・カメラ調整

- ラズパイ上のターミナルでスクリプトを実行
- カメラ&背景差分表示 : ~/Documents/backsub_highspeed.py
- 表示しながらunityに送信 : ~/Documents/highspeed_client.py

注意事項

- PCとラズパイは有線でつなぐ。
- あるいは無線でPCとラズパイを同じローカルネットワークに接続する必要がある。
 - この場合main.py内のipアドレスを変更する必要がある。
- ラズパイのファイル編集はsshで接続するか、直接ラズパイ上で編集する
 - sshがおすすめ
 - vscodeのsshクライアント拡張とかいれると簡単
 - 有線の場合は`ssh pi@raspberrypi.local`
 - 無線の場合は`ssh pi@172.???.???.???`
 - パスワードはrasp
 - 繋がらない場合はpingで確認
 - 繋がらない場合はラズパイを再起動
- ラズパイでpython実行は`python3 hoge.py`
- PC上でUnityのウィンドウをアクティブにしておかないと、画像を受け付けない